

手のひらに、明日をのせて。

^{NTT}
docomo

Internet Week 2011

D2:ここまで来ているIPv6インターネット！

NTTドコモにおけるIPv6対応の取り組み

2011年11月30日
株式会社NTTドコモ
萩谷 範昭

- Xi(クロツシィ)のご紹介
- ドコモのインターネット接続サービスにおけるIPアドレスの利用方法
- IPv6対応の状況と今後の課題

LTE「Xi」(クロッシィ)のサービス開始

- 2010年12月24日にサービス開始
- LTEの特長である「高速」「大容量」「低遅延」を活用し、これまでにない新しいサービスを提供していく

■ LTEの特長

高速

通信速度

約10倍※

大容量

周波数利用効率

約3倍

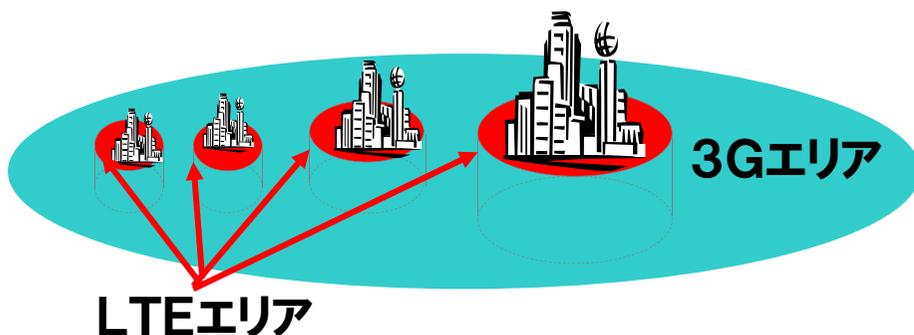
低遅延

伝送遅延(最大効果)

約1/4

(FOMAサービス(HSPA)との比較)

3Gにオーバーレイしながらエリア拡充



※ HSPA下り最大7.2Mbpsと、LTE下り最大75Mbpsとの比較

■ サービスブランド名・ブランドロゴ

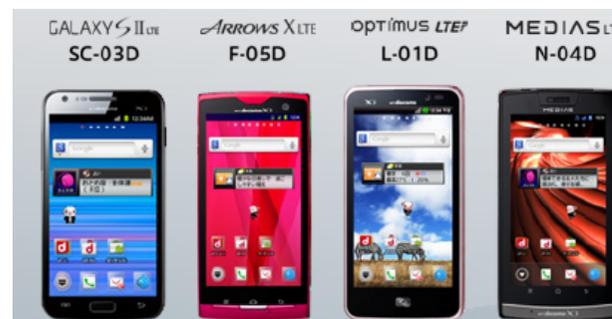


■ 端末例(データ通信専用)



■ 端末例(スマートフォン)

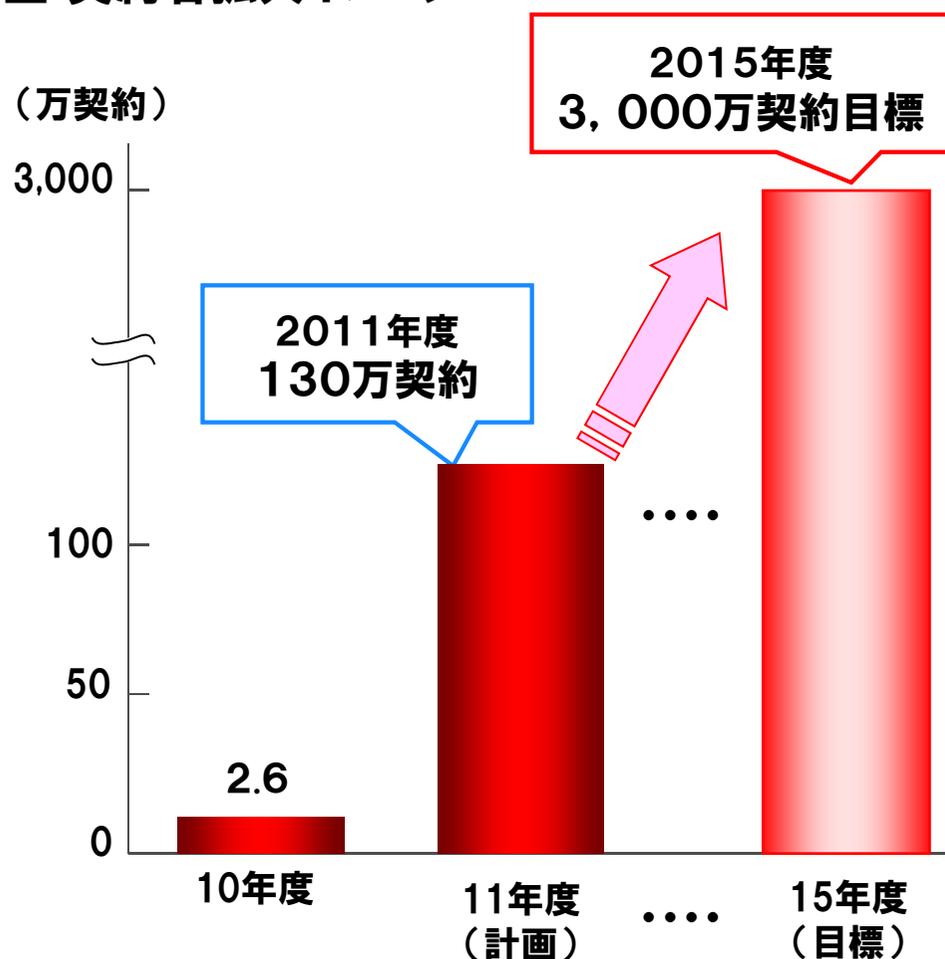
2011年11月~12月以降、順次発売



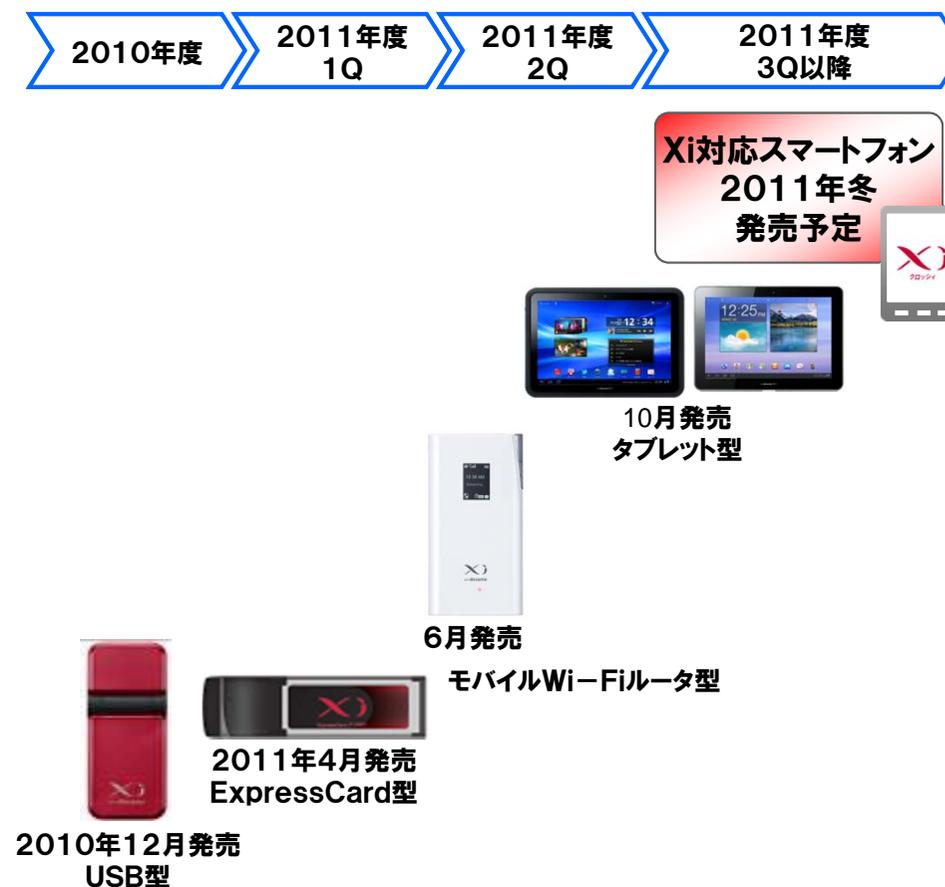
LTE「Xi」の契約者数・端末ラインナップ

- 端末ラインナップの充実により、2011年度は130万契約を目指す
- Xiに対して3年間で3300億円の設備投資を計画

■ 契約者拡大イメージ

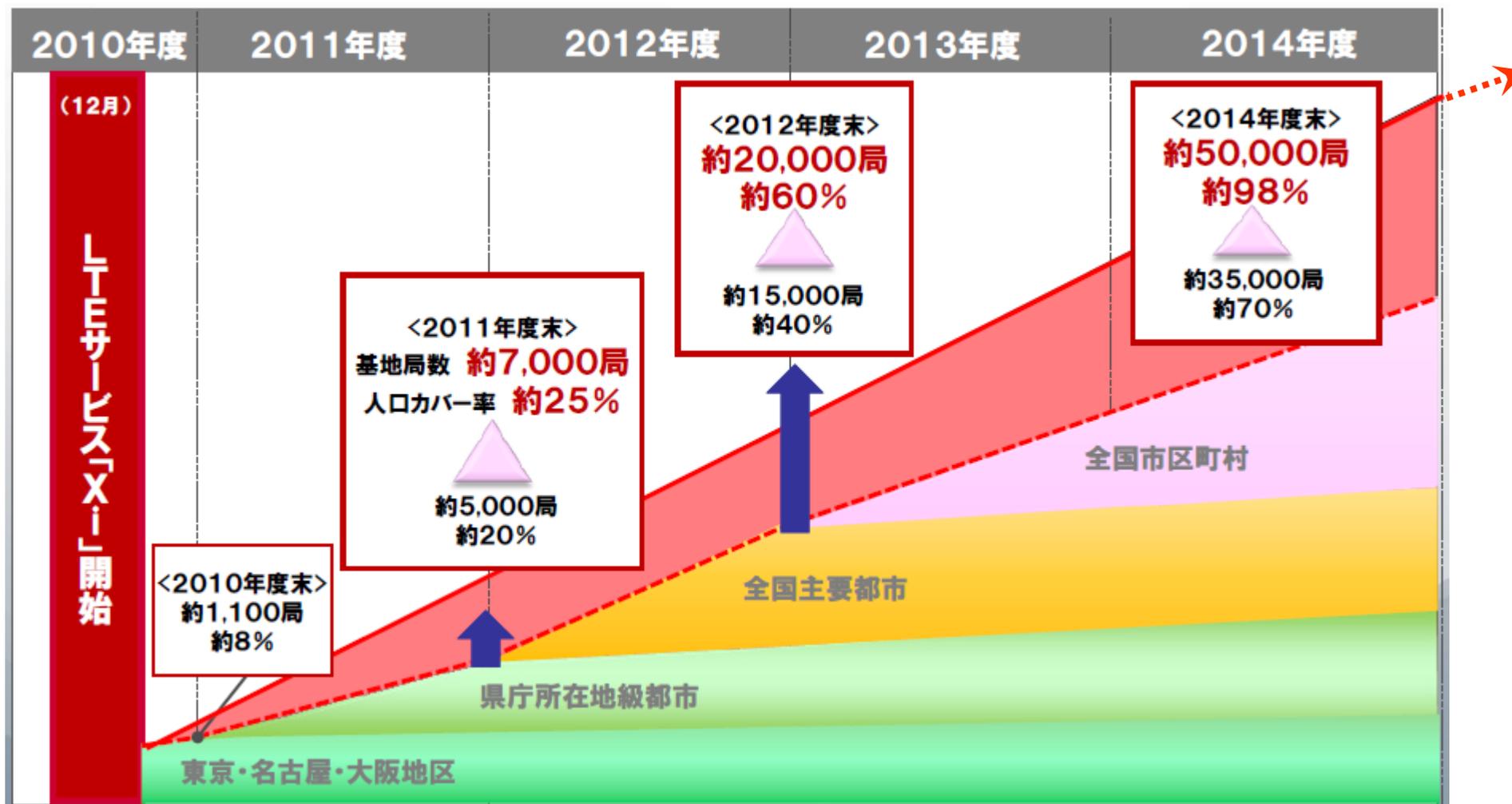


■ Xi端末ラインナップの充実



LTE「Xi」(クロッシィ)のエリア展開

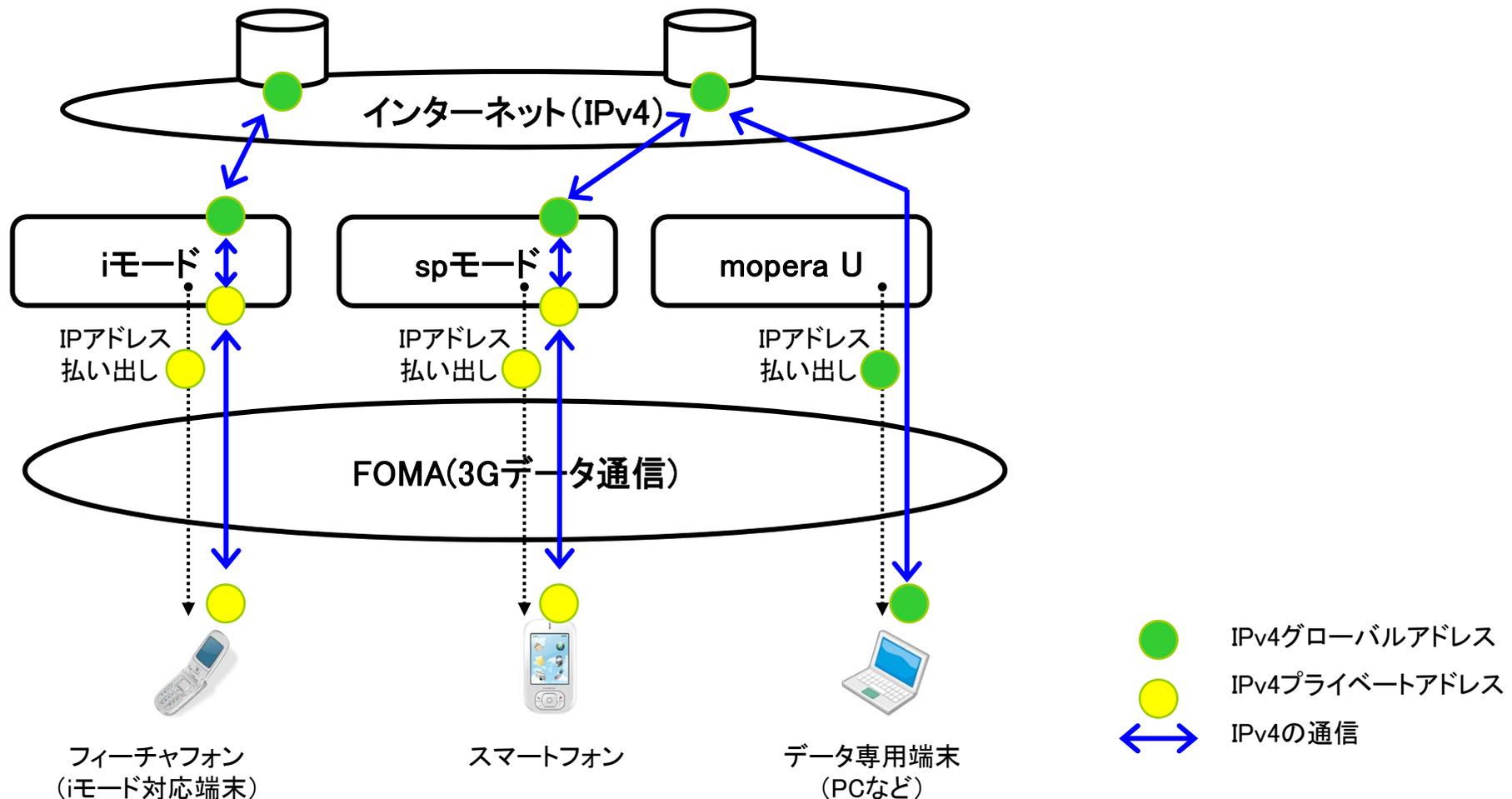
- 2011年7月、全国主要6都市(札幌、仙台、金沢、高松、広島、福岡)へエリア拡大
- 当初のエリア展開をさらに加速



	対象端末	iモード対応端末
	提供サービス	インターネットサービス、メールサービス、セキュリティサービス、コンテンツ決裁、海外ローミング、など
	対象端末	スマートフォン
	提供サービス	インターネットサービス、メールサービス(@docomo.ne.jp)、セキュリティサービス、コンテンツ決裁、海外ローミング、など
	対象端末	データ通信専用端末、スマートフォン、フィーチャフォン (固定ブロードバンド、無線LAN経由のPCなど)
	提供サービス	インターネットサービス、メールサービス、セキュリティサービス、海外ローミング、など

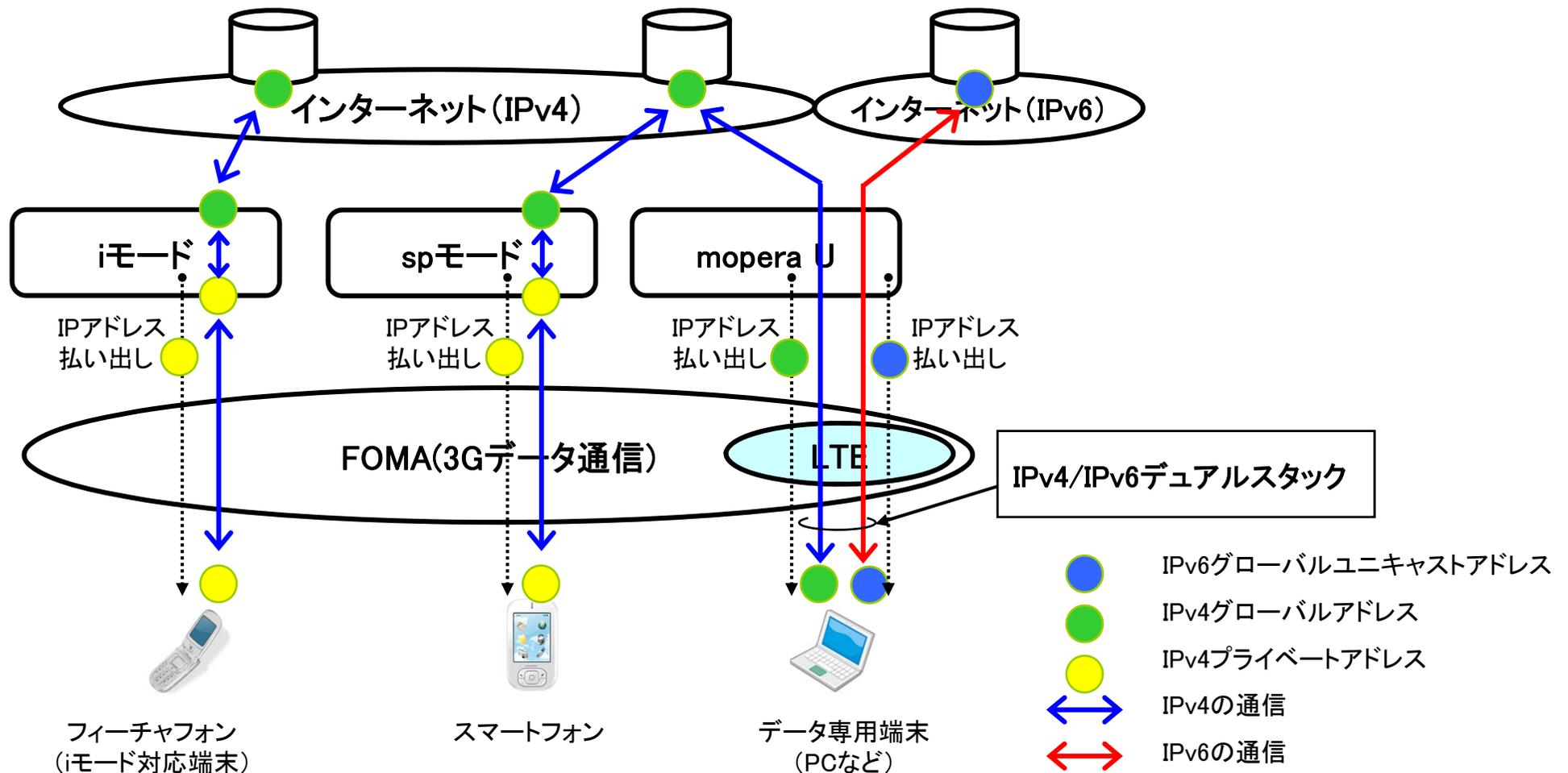
インターネット接続サービスにおけるIPアドレスの利用方法 NTT docomo

- iモード、spモードは、端末にIPv4プライベートアドレスを付与し、インターネットへの接続はIPv4グローバルアドレスに変換して接続している。
- mopera Uは、IPv4グローバルアドレスを端末に付与してインターネットへ接続している。



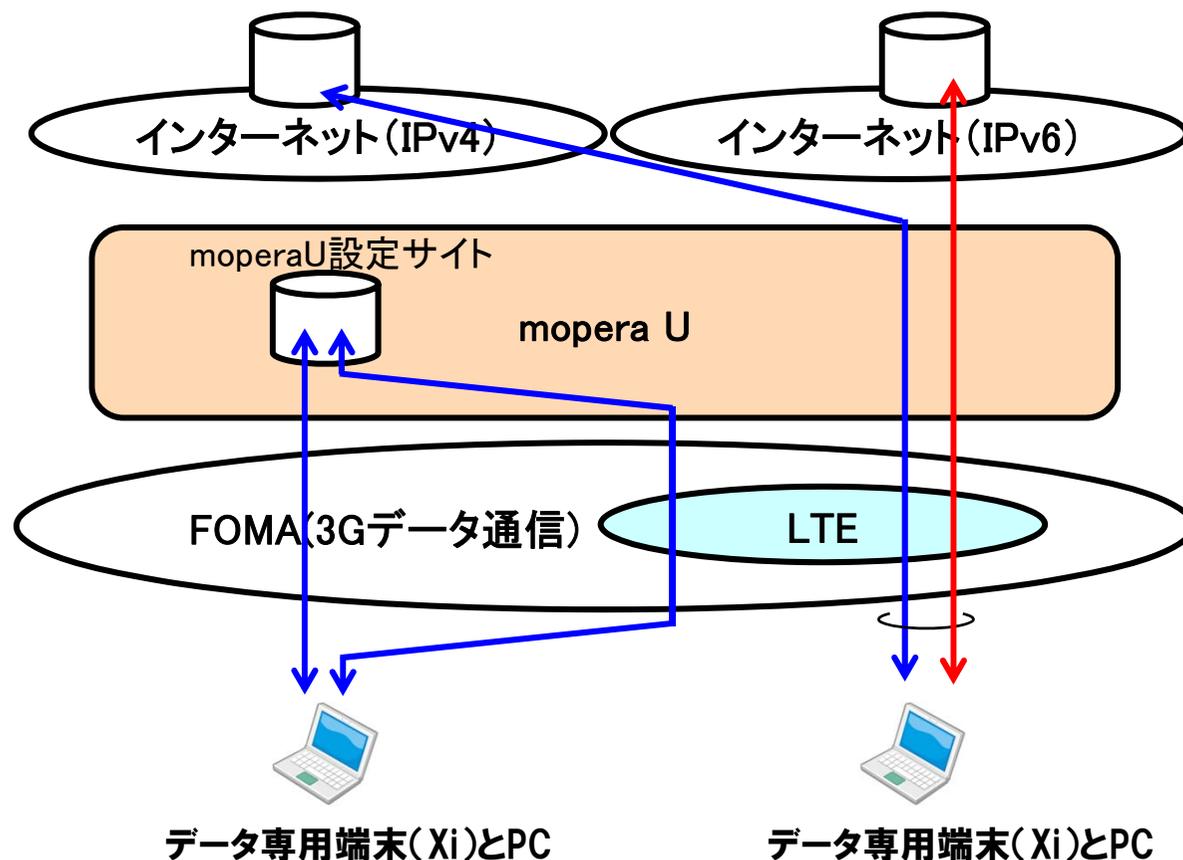
インターネット接続サービスにおけるIPアドレスの利用方法 NTT docomo

■mopera Uは、Xi(クロツシィ)のデータ通信端末とPCの組合せで、IPv6グローバルユニキャストアドレスの利用が可能。



mopera UのIPv6サービス

- Xi(クロッシィ)のデータ通信端末とPCの組合せによるIPv6インターネット接続サービスを提供中(2011年6月1日開始)。
- モバイルによるIPv6接続環境を実現。



《IPv6サービスのご利用条件》

- ・ Xiのご契約
- ・ Xiの端末(現在は、L-02C/F-06C)
- ・ mopera U(Uスタンダードプラン)
- ・ 事前にIPv6利用をONに設定

《以下の場合にはIPv6サービスをご利用いただけません》

- ・ 公衆無線LAN経由、固定網(ADSL、Bフレッツ/フレッツ光ネクスト等)経由のアクセス
- ・ 海外でのご利用

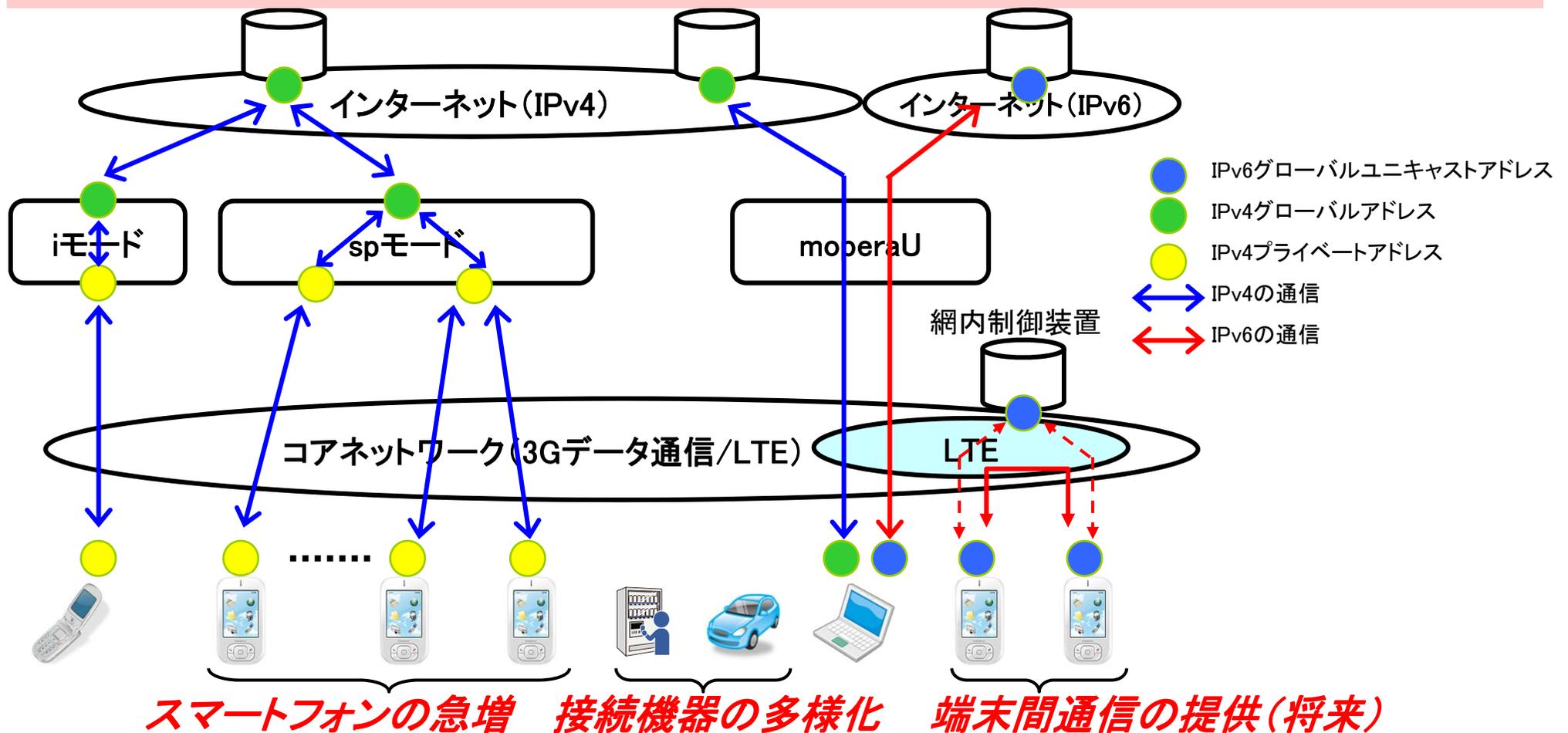
mopera U設定サイトで
IPv6利用をONに設定



IPv6/IPv4両方のアドレスを払い出し
IPv6は3Gエリアでも利用可能

IPv6対応の今後の課題

- spモードは当面は既存の仕組み(IPアドレス/ポート変換)で対応可能であるが、スマートフォンの急増や市場の動向を見つつIPv6対応も検討していく。
- 今後、接続機器の多様化や端末間通信の提供などに対応するIPアドレス利用方法を今後検討予定。



- mopera UでIPv6対応のサービスを提供中。
 - Xi(クロッシィ)のデータ通信端末とPCの組合せで、モバイルによるIPv6接続環境を実現。
- spモードは当面は既存の仕組みで対応可能であるが、スマートフォンの急増や市場の動向を見つつIPv6対応も検討していく。
- 今後、接続機器の多様化や端末間通信の提供などに対応するIPアドレス利用方法を今後検討予定。